

銘柄分析レポート：赤字の会社に投資できるか？

1 はじめに

下表をご覧ください。今年2月の資産運用レポートにも掲載した、英国の独立系資産運用会社「ベイリー・ギフォード社」が大きなポジションを取っている日本株の一覧表です。

同社の強みは成長株投資です。独自のリサーチ手法を駆使し、向こう10年超にわたって持続可能な成長力がある予測する企業に投資を行うことで、高いリターンを獲得を目指しています。

個人的に興味を持ったのは、現時点で赤字を継続しており、直ちに黒字転換の見込みが立っていない会社に踏み込んだ投資を行っている点でした。今までの私が「赤字は論外」とばかりに、ろくに調べもしなかった銘柄群だからです。

もし現在の赤字が大がかりな先行投資に起因するものであり、将来的に実を結ぶ可能性が高い（あるいはほぼ確実視できる）のであれば、先回りをして買っておけば、大きな果実を手に入れることができます。売上高が損益分岐点を超えると、その分がほぼ利益となるビジネスモデルの場合はなおさらでしょう。

そう考えるにつれて「長期投資家のベイリー・ギフォード社が、自信満々で買っている根拠はいったい何だろうか？」という疑問が頭の中で膨れ上がり、ついに居ても立っても居られなくなりました。今回の銘柄分析レポートでは、この一覧表から赤字の会社を取り上げます。

★ベイリー・ギフォード・アンド・カンパニー 2022年1月以降に大量保有報告書を提出した銘柄、あるいは変更報告書で保有割合を増やした銘柄の一覧表

コード	社名	株価	時価総額 (億円)	PER	PBR	保有割合	書類名	開示日
1	7956 ビジョン	2,184	2,657	32.3	3.48	8.73->9.99	変更報告書	2023/1/10
2	6184 鎌倉新書	1,105	431	97.5	12.05	7.94->9	変更報告書	2022/12/21
3	7816 スノーピーク	2,142	817	28.4	5.40	5.16	大量保有報告書	2022/12/21
4	3558 ロコンド	997	115	12.1	2.02	8.32->9.37	変更報告書	2022/10/21
5	6875 メガチップス	2,874	631	11.7	0.74	7.57->7.64	変更報告書	2022/10/21
6	4384 ラクスル	1,373	801	79.8	8.47	8.97->9.46	変更報告書	2022/10/21
7	2930 北の達人コーポレー	338	477	91.4	7.43	5.06	大量保有報告書	2022/10/21
8	4911 資生堂	6,159	24,636	87.9	4.07	5.9->7.22	変更報告書	2022/10/21
9	4192 スパイダープラス	601	205	-	5.55	5.63	大量保有報告書	2022/10/21
10	4751 サイバーエージェント	1,210	6,122	35.0	4.64	11.1->12.11	変更報告書	2022/8/15
11	7725 インターアクション	1,434	165	10.7	1.61	6.6->7.86	変更報告書	2022/8/4
12	4478 フリー	3,575	2,044	-	6.45	5.2->6.45	変更報告書	2022/7/7
13	6914 オプテックスグループ	2,032	767	13.6	1.83	5.03	大量保有報告書	2022/6/7
14	6027 弁護士ドットコム	2,776	619	-	21.59	6.8->7.93	変更報告書	2022/4/20
15	4477 BASE	271	308	-	2.28	11.23->12.29	変更報告書	2022/4/15
16	3491 GA technologies	1,144	419	97.5	2.17	11.48->12.84	変更報告書	2022/4/4
17	4169 ENECHANGE	1,111	69	-	9.43	5.85	大量保有報告書	2022/2/7

注：株価、時価総額などは2月17日終値